

大阪大学大学院人文学研究科  
フランス文学・アート・メディア論共催講演会

# 上田久美子とフランス

大学でフランス文学を学び、卒業後は宝塚で脚本・演出家として活躍をした上田久美子さんによる講演会です。一昨年宝塚を退職し、現在はフランスと日本を行き来しながら、新たな作品を求めて奮闘中です。大学での思い出や、なぜ今フランスに創作の場を求めたのかなど、さまざまなお話を伺います。(聞き手：東志保・大阪大学人文学研究科准教授)

日時：7月3日(水) 17時～18時半(16時40分開場)

会場：大阪大学豊中キャンパス

大阪大学会館アセンブリーホール

参加方法：入場無料。以下の申し込みフォームより要申し込み。

<https://forms.gle/4syJv3PnmmxGGiLu6>

(申し込み期限：7月2日 但し、定員になりしだい締切)

対象：阪大関係者、一般先着200名



## 上田久美子

奈良県出身。京都大学文学部フランス語学フランス文学科卒業。2006年より宝塚歌劇団演出部所属、宝塚歌劇の脚本・演出を手がける。文楽や能など伝統芸能の知識を生かした作品は、批評家らに高く評価されてきた。処女作「月雲の皇子」は日本の古代史に題材をとり、歴史における記述の起源を根底のテーマとしているように、作品は常に哲学的なテーマ性を持つ。2022年、宝塚歌劇団を退職。2023年-2024年には文化庁新進芸術家海外研修生としてフランス・パリに滞在。

©matron2023

お問合せ：1953gallia@gmail.com (大阪大学フランス文学研究室)